

区民と区長のまちづくり懇談会 会議録 [中央地区]

No.	区 民	区 長
豊かな人間性をはぐくむ文化の香り高いまち		
1	<p>【こども園について】 区にもいくつかこども園があるが、この実態が親の要望にあっていないのではないか。あるこども園では、4月中は保育の受付をせず、5月に入ってから受け入れるという話も聞いた。これでは、仕事を持つ親は預けられない。こども園の実態を知りたい。</p>	<p>区には、こども園が2園あります。みどりがおかこども園とげっこうはらこども園です。お話された事例についてですが、そのようなことはなく、4月から保育の受付をしています。もしそのようなことがありましたら、具体的にご教示いただければと思います。</p>
2	<p>【目黒シティランについて】 目黒シティランには、どれだけお金がかかっているのか。昨年は、目黒通りなどに交通規制があり、住民からの苦情があったと思う。住民の生活に影響を与えることなので、今年はどうのようにしようと考えているのか。</p>	<p>目黒シティランについては、多くのお声をいただきました。改善策の一つとして、ランナーをいくつかのブロックに分け、ブロックごとに数分の間隔をあけて順番に出発させることを考えています。そのあけた間隔を利用して、交差点を横断する歩行者が渡れる対策等を図ります。また、宣伝広告活動が十分でなかったとお声もありました。チラシの全戸配布もしましたが、周知徹底されないところもあったようです。前回の教訓を踏まえ、警察署・消防署の指導のもと、今年度も実施に向けて対応しているところです。</p>
3	<p>【インクルーシブ教育について】 大阪の大空小学校では、インクルーシブ教育を実践している。この学校の物語が映画になり、各地で自主上映されている。区でもぜひこの映画を上映してほしい。成人した障害者も自立して地域に住み続けられるようにしてほしいという思いがある。そのためにも、インクルーシブ教育を普及させる必要がある。この映画を見て、多くの方に考えてもらいたい。</p>	<p>ご要望の映画の上映については、昨年度、検討しましたが、難しい点がありました。そこで、今年1月に、このドキュメンタリー映画で紹介されている大空小学校の初代校長を、区立小中学校長・幼稚園こども園長を対象とした研修会へ講師としてお招きし、講演していただきました。そうした事例を参考にしつつ、区では、現在、特別支援教育推進計画第三次に沿って、障害のあるお子さんと障害のないお子さんが共に学ぶ場の充実に取り組んでいます。</p>

No.	区 民	区 長
4	<p>【インクルーシブ教育について】 区では、特別支援教室を各小中学校に配置しているようだが、知的障害の子は入れない。学校とは勉強だけでなく、いろいろなことを学ぶ場でもある。障害の種別にかかわらずどんな子でも普通学級で学べるようにしてほしい。</p>	<p>確かに特別支援教室では、知的な遅れがなく発達障害があるお子さんを対象にしています。いただいたご意見を参考にしながら、さらに検討していきたいと思います。</p>
5	<p>【銃剣道の授業について】 新学習指導要領に「銃剣道」が明記され、授業で教えてよいことになった。今や自衛隊しか行っていないと思われる「人を殺すための武道」だと聞いている。自衛隊の中でも死者が出ているとも聞いた。学校で銃剣道を教えることについてどう思うか。</p>	<p>学校教育法などに基づいて、定められたことなので、それについては否定されないことだと思います。また、銃剣道を教えるかどうかについては、教育委員会で判断しますが、今現在、区として教える予定はありません。</p>
ふれあいと活力のあるまち		
6	<p>【町会について】 町会では、区から通知などがあった場合、地域の住民へ報告している。しかし、区の取組において住区住民会議にしか声かけしていないものがあり、町会が無視されているような気がする。また、数年前に要望した町会掲示板については、増設していただき感謝している。</p>	<p>これまで町会・自治会には事務委託という形で区政情報の周知などをお願いしていますが、自主的な地縁団体として、財政的支援はあまり行っていませんでした。先般策定した「コミュニティ施策の今後の進め方」案では、町会・自治会を地域のコミュニティ形成の基礎となる団体と明確に位置付け、活性化に必要な支援を行っていくとしています。</p> <p>町会・自治会と住区住民会議との関係など整理が必要な課題もありますが、引き続きのご協力をお願いします。</p>
7	<p>【キャンペーンの通知について】 「駅前放置自転車クリーンキャンペーン」については、住区住民会議にも通知がなかった。アンケートにより駅周辺の町会だけで行っているようだが、もっと広く声かけをしたほうが良い。</p>	<p>「駅前放置自転車クリーンキャンペーン」は、今まで住区住民会議を中心に鉄道事業者などとともに行ってきました。ご指摘のように情報提供が徹底されていないのであれば、見直していきたいと思います。今後ご協力をお願いします。</p>

No.	区 民	区 長
8	<p>【町会への支援について】 最近、町会事務所が古くなったので建替えを考えている。港区では、建替えの際に、1千万円支給される話を聞いた。町会は、末端のコミュニティである。もっと町会に目を向け、町会の経費などを区の予算に計上してほしい。</p>	<p>これまで町会・自治会への財政的支援は、ゼロではありませんが具体的にまとめたものではありませんでした。町会・自治会は自主的な地縁団体ではありますが、区政執行のパートナーとして大切な団体であると認識しています。区ではいろいろな形での支援を考えており、その一つとして現在、町会掲示板の整備を行っています。町会のよりよい運営のために、区はどういったことをやっていけばよいのか検討を進めているところですので、皆さんからご意見をいただきながら考え、実施していきたいと思えます。</p>
9	<p>【商店街について】 近隣の商店街を見ると、どんどん疲弊している。高齢者などは、周りに商店街がなく、遠くのスーパーへ買い物に行かなければならない。国の問題なのかもしれないが、商店街地の固定資産税を安くしたり、区が補助するなど、商店街をなくさないようにできないか。</p>	<p>区では、商店街活性化のための支援として区内の各商店街などを対象に「商店街プロモーション事業」や「優遇利率の融資あつせん」などを行っています。また「商店街のつどい」という商店街の皆さんとの懇談会を開きお話も伺っていますので、商店街の現状については、十分ではありませんが、ある程度、承知はしています。商店街が地域に根を張るために、引き続き支援してまいります。</p>
ともに支え合い健やかに安心して暮らせるまち		
10	<p>【子育て支援について】 実施計画改定素案の中に「子育て支援」の項目があり、事業費として141億円計上している。現実には、若いお母さんたちが保育園に入園できなくて本当に困っているという話を聞く。早急に実施してほしい。そして、この事業費は、待機児童解消に十分な予算計上なのか。</p>	<p>今後も要保育率は増加していくと思われまますので、待機児童対策は大きな課題であると認識しています。今の計画では、平成33年までに3,518人の保育所定員拡大を図ります。保育所整備を早急に進めるためにも債務負担行為の仕組みなどを活用し、早めに事業者へ募集をかけるなど、喫緊の課題として取り組んでまいります。</p>

No.	区 民	区 長
11	<p>【保育施設の利用調整について】 「平成30年度保育施設の利用についてのご案内」を見ると「利用調整基準指数」の中に「小規模保育園の卒園児を優先する」という項目が新設されていた。今まで、窓口でも説明がなかったのに、なぜ、この機会に急に切り入れたのか、1年ぐらい遅らせることはできなかったのか。またその特例として「認可保育園児や認証保育園児」も対象にしてほしい。</p>	<p>この新設項目は、利用調整基準における指数同位の場合、優先させるというものです。国の通知に基づき、小規模保育園などの地域型保育事業からの卒園児に対して必要な教育又は保育を継続的に受けられるよう、この優先項目を定めたものですが、対象施設等について、再度見直しを行い、至急対応しているところです。現段階では、特例などについて詳細のことはお伝えできませんが、この項目設定が急であったことについては深く反省しております。</p> <p>※対象施設について改めて精査を行い、区がこれまで認可保育園と同様に利用案内に掲載しご案内しており、運営費の補助を行うほか、その運営についても直接指導監督している東京都独自の認証保育所を対象施設に追加しました。</p>
12	<p>【待機児童対策について】 子どもを持つ親としては、待機児童を解消し、保育園増設を切にお願いしたい。</p>	<p>今回の実施計画改定素案の中にも子育て支援策として141億円計上していますが、現在でも待機児童対策に年間100億円以上の予算を使っています。現計画では、平成28年4月からの5年間で倍近くの保育所を整備していき、保育所定員拡大を図っていく予定です。1つの保育所を整備するにも、用地確保や近隣住民の方からいただくご意見に対して丁寧な対応をするなど、半年以上かかります。このようなことをご理解いただきたいと思います。一日でも早く待機児童ゼロとなるよう努力しているところです。</p>

No.	区 民	区 長
13	<p>【学童保育クラブについて】 今、学童保育クラブが大規模化している。定員60人で運営されているが、条例にあるとおり50人ぐらいにしてほしい。人数が多いと騒がしく、子どもたちも落ち着けない。障害児にとっても重要な生活の場なので、良質な生活ができるよう大規模化を解消してほしい。</p>	<p>共働き世帯が増加し、学童保育クラブの需要も急増しています。以前は、地域的偏在がありましたが、今後は、全域において増加すると考えています。また最近では、学童保育クラブ利用時間の多様化問題にも直面しています。まずは、実施計画改定素案にも挙げましたように、増加する地域を中心に学童保育クラブの整備を進めていきます。放課後の子どもたちが安全で安心して過ごせるよう、教育委員会とも連携していきたいと思います。</p>
環境に配慮した安全で快適なまち		
14	<p>【資源ごみの報奨金について】 目黒区は、回収された資源1キログラムあたり5円の報奨金を支払う。しかし、財政難ということで、そのうち1円は区に支払うことになっている。世田谷区は、7円支払われるそうだ。目黒区も町会への支払いを5円に戻してよいのではないかな。また回収業者選びもよくないのではないかな。</p>	<p>ご指摘の資源ごみとは、古紙のことだと思います。報奨金については、いろいろな経緯があって変更したところであり、他区の状況も承知しています。古紙回収については、町会の皆さんにご協力いただいておりますが、報奨金以外にも古紙の抜き取り問題などもあります。町会の皆さんとよく話し合いながら、検討していきたいと思います。</p>
15	<p>【雨水タンクについて】 防災の観点からも多くの家庭が、雨水タンクを設置した方がよいと思う。他区はとっくに予算措置を講じている。目黒区は私たちの要望のもと、予算がつき、当初400万円ほど計上した。これでは、ごく限られた世帯しか設置できない。雨水タンクの設置を促進してほしい。</p>	<p>総合治水対策として雨水流出抑制施設などの設置を指導しています。雨水タンクについては、雨水浸透ますなどの助成と併せて平成28年度から助成しています。PRはしていますが、昨年は2件だけでした。もっとPRしなければならぬと考えています。他区の話をするれば、目黒川流域の約6割が世田谷区です。世田谷区流域の水がすべて目黒川に流れてきます。世田谷区では雨水処理施設を各戸に設置してもらうために、世田谷ダムと称して雨水タンクを奨励しています。今後も、下流の品川区を含めた3区が負担のかからないよう協力して目黒川流域を守っていきたいと思います。</p>

No.	区 民	区 長
その他		
16	<p>【財政について】 東京都から目黒区へ特別区財政調整交付金の普通交付金が111億円あるという話を聞いた。この交付額で、多くの保育園ができるのではないかと感じた。区はこの交付金を予算計上していないのではないか。また、その用途をどう考えているのか。</p>	<p>特別区財政調整交付金は、区の歳入として計上しています。区では、平成29年度当初、財政調整基金11億円を取り崩し、歳入に充てています。今の財政計画素案では、5年間で100億円以上取り崩さなければならないことになっています。歳入よりも歳出の方が多く、不均衡ではありますが、待機児童対策をはじめ区の福祉を支えていくためには必要と判断し、実行しています。</p>
17	<p>【区の歳入確保策について】 昨年、区の経常収支比率が23区並みになったという話を聞いた。しかし平成28年度は、悪化している。区は、歳入確保策を考えているのか。私たちにも協力できることがあれば一緒に取り組んでいきたいと思う。</p>	<p>平成28年度経常収支比率は、85.6%となり、23区中最も高い数字です。これは、歳入面では、都区財政調整制度による基準財政収入額の増加に伴う特別区財政調整交付金の減少、歳出面では、保育所整備による扶助費の増加などが影響しています。経常収支比率が高くなることは、財政の硬直化となり決して良いことではありません。今後の景気動向も十分に踏まえながら、引き続き、歳入確保に努めてまいります。</p>